公表　保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日　2026 年　2月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　春日部武里教室

保護者等数(児童数)　22名　回収数　18件(割合82%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	6		5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15		1	2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	1	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	16	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	3		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	9	8	希望していない。春日部駅前と合同行事があってもいいと思いますが、現在の活動で充分です。	他教室との交流や保護者参観も検討してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	7	5	希望していない。	他教室との交流や保護者参観も検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1		1	家族としてペアレントトレーニングを希望していないので情報提供は大丈夫です。	保護者参観を検討しております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	13	3	保護者もそれぞれ事情があるので、交流の機会は難しいと思います。	保護者参観を検討しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1		2		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15		1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4		3	職員間で周知されていればいいと思います。	今後保護者の方にも分かりやすく伝えていけたらと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		5	家族が感染症、事故の際の緊急連絡を理解していればいいと思う。	今後保護者の方にも分かりやすく伝えていけたらと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	13	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	3		3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2		1	１つも楽しく通わさせていただいております。	ありがとうございます。教室に通うことが楽しいと思ってもらえるように努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2				

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日　2026年　2月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　春日部武里教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	カラーテープで活動エリアを区切って工夫している。	児童の体が大きくなっているので、もう少し広いスペースが欲しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	3	児童の人数によって、職員人数を考慮している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	机や棚の角にはけが防止の安全カバーを付けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3		トイレの洗面台の改善(狭い)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	クールダウンができるように休憩室を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	5	ミーティングや日常の報連相で周知が図られている。	日頃のやり取りは聞くことが多いが、評価に基づくものは少ない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	月一でほとんどの職員が参加する会議を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	6		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		地域支援や地域講義についてはいまいちな印象。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	最近頑張って取り組んでいる。	固定化されるケースが多いが、その中でもいろんなものに取り組んでいこうと努力をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	役割を決めたうえで臨機応変に対応が出来ていると思う。	まだ不十分なところがある。努力し続ける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	翌朝に朝礼で行っている。	継続して行っていく。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	連絡帳に記載している。	連絡帳や課題の中にメモをいれているので職員がいつでもだれでも見ることが出来るようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	児発管が半年に一回親御さんと面談している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	7	たまに姉妹教室に利用児童を連れて行くことがある。	地域交流がない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	5		サービス担当者会議が行われていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	6		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	7		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	8		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1	9		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	9	たまに姉妹教室に利用児童を連れて行くことがある。	検討させていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2	送迎時や連絡帳でお伝えしています。	今後も送迎時や連絡帳でお伝えしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	9		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2	素早く対応できていると思う。	今後も迅速な対応を心がける。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	毎月一回、お便りやイベントカレンダーで伝えている。	SNSでは最近行っていないので検討させていただきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	厳重に保管している。	継続して行っていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	ジェスチャーや絵カードを用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		検討させていただきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	7		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	8	緊急時に動けるようイベントを通して取り組んでいる。	今後開催が出来るように検討させていただきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	2	保護者の方の話や診断結果の書類をコピーさせていただいております。	継続して行っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3	日常生活の部分はされている。	非常時は不安。改善できるように努力します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2	その都度ミーティングを行っています。	継続して行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	研修を行っています。	継続して行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	3	職員には伝えている。	契約の際に伝えてはいる。子どもや保護者に説明する場合は不安。